

# 2011 ハワイ・ロングステイ（20）

第20話 「ナ・パリ・コーストは「秘境」まさに圧巻で～す!!」

ハワイ4島クルージング「7日目」  
クルーズ観光 「ナ・パリ・コースト」

Aloha!!

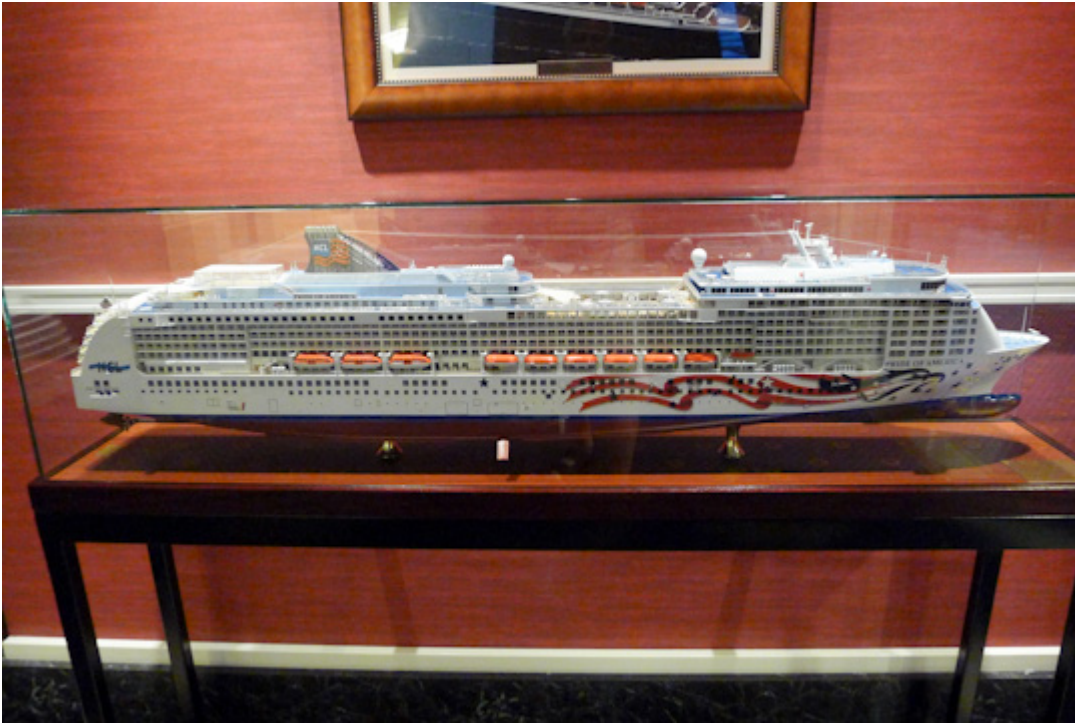
寄港地観光を予定していない私たちは、いつもよりゆっくりの朝6時半に起床。お天気はまた、気持の良い晴です。今日は、明日の下船のための、荷物の纏め作業が出来ればそれで良いとして、終日船の中で過ごすことになる。



□am 7時半頃、

スカイライン・レストランに入る。そこで欲深い私の注文は、**サニーサイドアップ**と**ハムのオムレツ**・さらに、**目玉焼きが載ったパン**・そして、**トロピカルな果物のデザート**など ... 朝からもの凄いボリュームとなった。家内のそれは、写真のように、ダイエットな盛りつけとなっています。出された料理は、まあまあ美味しい! ... ゆったりと流れる時間の中、こんなにリラックスして朝食を戴いたのは、今回のクルーズで今朝が初めて。

□その後、船内のショップで、孫たちへのお土産を少し買い求めてキャビンに戻った。



そして今、  
八時半を過ぎたところ ... 下船のための、身の回りの物をスーツケースに詰める作業に取り掛かった。こうした作業を始めると ... 地中海 エーゲ海のクルーズでのその時を思い出す。あの時は船が大きく揺れる中での荷造り ... それは大変だった。  
□今、船は停泊していて、まったく揺れていない。なのでその作業も軽快に進み、午前10時過ぎころには纏め終えた。

そこで、お茶にでもしようと、5階のラウンジに行き、フロートを注文し、ブルー



ベリーの  
カップケーキを頼む。そこで暫くの間、日誌をつけたりして過ごす。窓の外には、寄港地観光に繰り出す乗客たちが、思い思いのバスに乗り込んで出掛けて行くの見える。

私たちは、終日船にとどまって、明日の下船の準備をしたい ... そんな思いであるのであって、決してこの「カウアイ島」に魅力がないわけではないことを書いておきたいのです。

「カウアイ島」は、島全体の美しさと、野外活動に最適な島として一番の人気があるそうです。なので、この島には一日半の停泊をしている。そして船のツアーデスクである「ショアーエクスカーションデスク」には、この島の、数え切れないほどのツアーが案内されています。

□□..... この島は初めてと言う方のために、その幾つかをご紹介しますね。

まず、その は「ナ・パリ・コースト」ですね。私たちは、この船から観ることになりましたが、ヘリコプター・ツアーもお薦めだそうですよ。次に は「ハナレイ」です ... ノースショアを代表するのどかでゆったりとした街で、カウアイ島最大の人気のビーチがあるんですって!!。そして は大型リゾート「プリンスヴィル」

はかつて王族の結婚式が行われていたと言う神聖な場所「シダの洞窟」 はこの島の玄関口と言われる街「リフエ」 は人気のリゾートで屈指の美しいビーチ「ポイブ・エリア」そして はキャプテン・クックが最初に上陸した街「ハナペペ〜ワイメア・タウン」があります。最後に は前回「第19話」でお話した「ワイメア・キャニオン」などなど、この島は魅力がいっぱいですよ!!。 ... どうぞご参考にして下さい。

□□ここで、ちょっと余談ですが ...

「私の生涯の宝物 ... それは写真なのです」 ... こうして、このブログでも観て戴いている芸術性も報道性も何もない写真たちばかりですが ... 人それぞれにとっては「記念する写真」であることには違いありません。それに、ただかつての「昔」を懐かしむためにだけ写真があるのではないと思っています。写真を見つめると ... その時と、見つめている今と、その間に流れた時間の大切さや・重さなどを教えられたり、また、これからのことをあれこれと思いめぐらしたりと ... 何気なく撮った「写真」が、何時しか代えがたい「宝物」となっているのに気付くのです□

□なので、カメラだけは何時もバッグに忍ばせて、何処へ行くにも持ち歩いているんです。そう ... 私にとって写真は、メモでもあり、生涯の宝物なのです□

「写真は撮らないと言う皆さん ... 始めてみては如何ですか !!」



さて、話しを戻して ... 明日の下船の準備も大方整ったとして、最後となる「船内探検」をしたんですね。すると、プールサイドやオープン・デッキでは、欧米の方がたくさん日光浴しています。



こればかりは私たちに、真似が出来ないヴァカンスの過ごし方 ... そうゆう光景を横目に、少し早めの昼食をとろうと11時38分 デッキ11階のアロハカフェに入る。さて、**お昼は何を食べようか ?? ... と探す**が、なかなか食べたい物が見つからない。そんな思いで探し回っていると、**肉のカレー風煮込みが目にとまった**□**そうだ !! ... ライスと盛り合わせれば「ビーフ・シチュー」になるよね !! ...** こうしてメニューが決まった。そして食べてみると ... 実に 美味しい !! ... 満足の昼食となった。



船は最後の航

海へと、午後1時半頃にカウアイ島を出航した。そしてpm1時半から、日本人向けの下船説明会が開かれると言うので参加することした。





□ 夕刻の 5 時  
15 分 船は「ナ・パリ・コースト」近づいて行く。この「ナパリの絶景を見ずしてカウアイ島から帰ることはできませんよッ ... 」と、誰かが言った。そそり立つ山々が迫る絶景の海岸線 「ナ・パリ・コースト」である。



カウアイ島

の北側に位置していて、ナパリとはハワイ語で断崖のことを言うそうだ□

その言葉通り、長い年月をかけ、雨、風、海水に浸食されて生まれた地形で、標高1000m級の山々はカミソリの刃のような稜線を持ち、切り立った茶褐色の崖の間から流れ落ちる滝が、この島の降水量の多さを物語っています。



この「ナ・パ

リ・コースト」は、カウアイ島の北のケエ・ビーチから、西のポリハレ・ビーチま

で標高約1,000m・約21kmに渡り続く断崖絶壁で、まさに圧巻です!!。「秘境」と呼ぶにふさわしい見事な景観が連なっている。特に、私たちのように船からの「ナ・パリ」の眺めは素晴らしく、ハイキングなどでは見られないようだ。







□カウアイ島は、  
ハワイ諸島の中でも最も古い島で、大自然が創ったここだけの独特の景観が数多く  
あるそうで、こうした光景を堪能するもう一つの方法は、空からのヘリコプター・  
ツアーである。 これなら、カウアイ島全体の起伏に富んだ景観を観ることも出来  
るでしょう。 飛べなかった私たち ... 帰ってから反省しきりでした。



デッキから

暫く観ていた私たちは、この景観を船室からも眺めてみようと、キャビンに戻った。すると、このキャビンからの眺めはまた、貸切り状態で良い。



こうして、

日中の明るいうちに航海が始まるのは、今回のクルーズでは今日が初めてである。風も弱く、暖かい潮風に吹かれ・海面の波も静かだ...

天候に恵まれ、長く連なる絶景を眺めることが出来て、ハワイの別な顔を堪能し



たものです。

**この後、船は、カウアイ島から離れ、一路ハワイ島 ワイキキを目指して、最後の**



**航海をして行く。明日の早朝には、  
港の予定で、7泊8日のクルージングは終わりとなる。**

**ホノルルに入**

さて今夜は、この船に乗り合わせた日本人 3組6名がご一緒に、最後のディナーをフランス料理で楽しむことにしているんです ...。

**ではまた...Mahalo!!**